Cells NEWS

Vol.4

30日間で若葉マーク卒業！『台帳』30DaysProgram

「台帳を導入したけれど、何から手をつけたらよいのかわからない」――　漠然と「わからない」ということが『台帳』の利用を前に大きなハードルとなっていませんか？
そのハードルを越えてほしいという一心で、弊社サポートチームが台帳ビギナー向けにおさえておきたいポイントを厳選して作成した30DaysProgram（5月10日スタート）。基本情報の登録方法から電子申請のフロー、注目の「Cellsドライブ」活用法など1日１テーマを30日かけてお届けしていきます。「台帳を導入してよかった」、すべてのユーザーにそう感じていただけるように、日々有益な情報発信に努めていきます。

30DaysProgram

セルズオフィシャルサイトからアクセスできます。

Click here！

―知っトク♪パソコン豆知識―

Windows Updateをおこなっていますか？

5月にはコンピュータウイルスのランサムウェアが猛威をふるいました。

Windows Updateを行えば、パソコンが最新の状態になりシステムの不具合が改善されるだけでなく、セキュリティの更新プログラムもアップデートされます。

更新プログラムをとめたらどうなるか？

運がよければ何も起きませんが、それも長くは続かないでしょう。特にセキュリティ更新プログラムは重要です。悪意のあるプログラムでセキュリティを破られてしまっても使っている人にはわからない可能性もあります。ネットを通してセキュリティを破られて、悪さをするための踏み台にされてもいるかもしれません(T_T)目に見えないのが怖いところ。ですから、「今のままでも問題が起きていないからいいや」では済まないこともあります。マメに更新プログラムをインストールしましょう。
WindowsUpdateの確認・設定方法が不明な方は、
「WindowsUpdate　確認方法　WIN〇」で検索！　※〇はOSのバージョンです。

Fukuyama

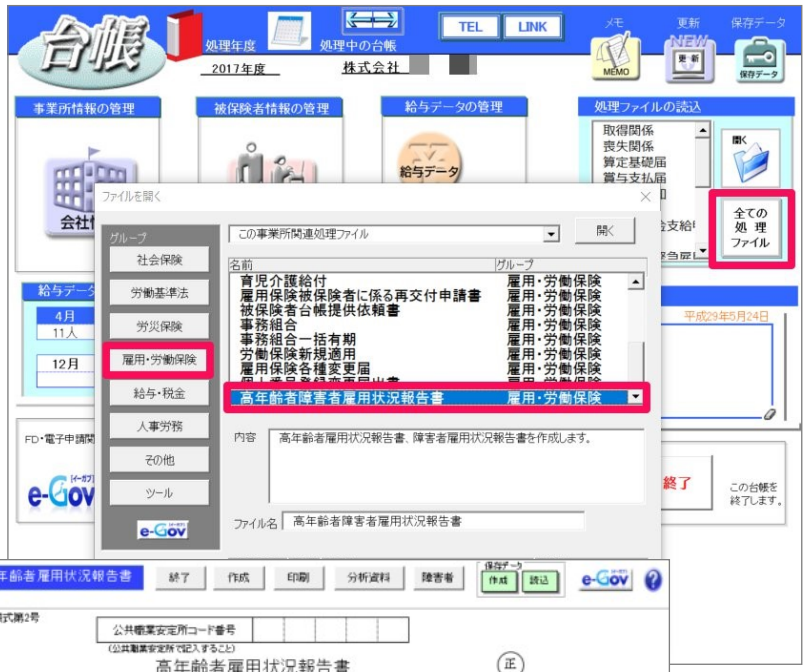
WindowsUpdate　確認方法　WIN〇　検索

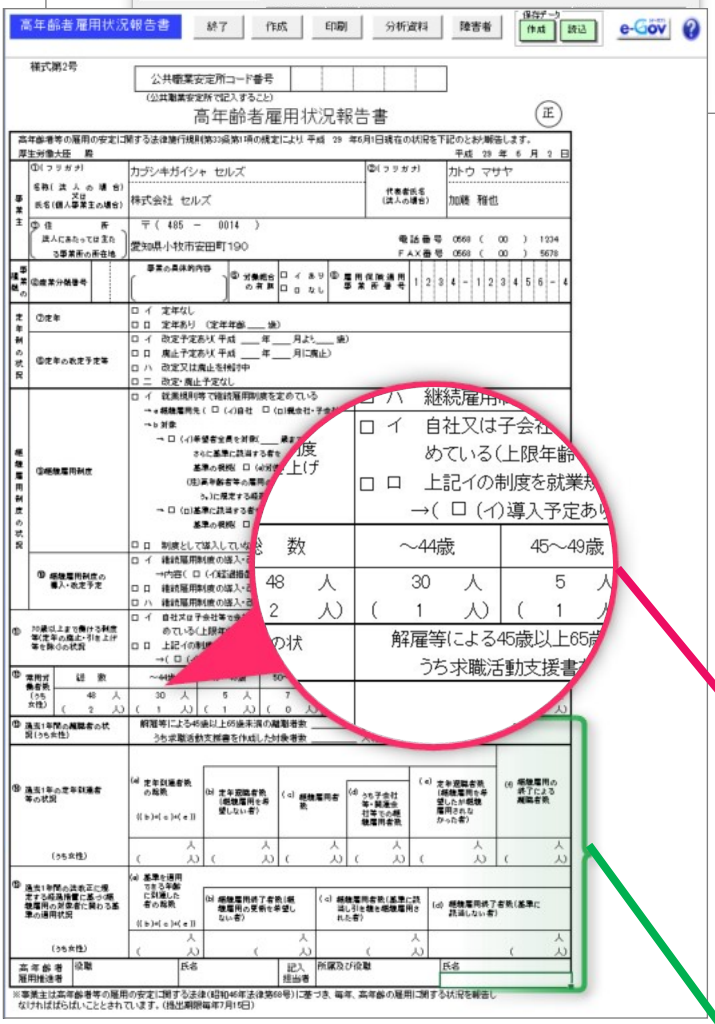
NEW『台帳』V9.00.21「高年齢者障害者雇用状況報告書」機能誕生

高年齢者雇用状況報告書についてご紹介します。

入口はこちら

事業所ファイル起動⇒全ての処理ファイル⇒グループ「雇用・労働保険」⇒高年齢者障害者雇用状況報告書





今年こそは対応したい

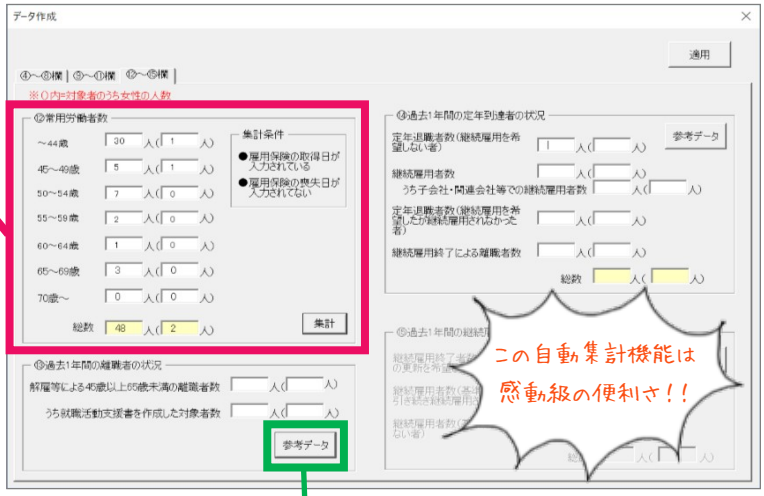
1年に1度のこととはいえ、「面倒」というイメージがつきまとう高年齢者雇用状況報告書・障害者雇用状況報告書。そう感じてしまうのは、同時期に年度更新・算定基礎届・賞与支払届の手続きが重なるからでしょう。「今年こそ台帳で対応しよう！！」―そう決めて、報告書作成負担を軽減したいという積年の思いがこのたび叶いました。

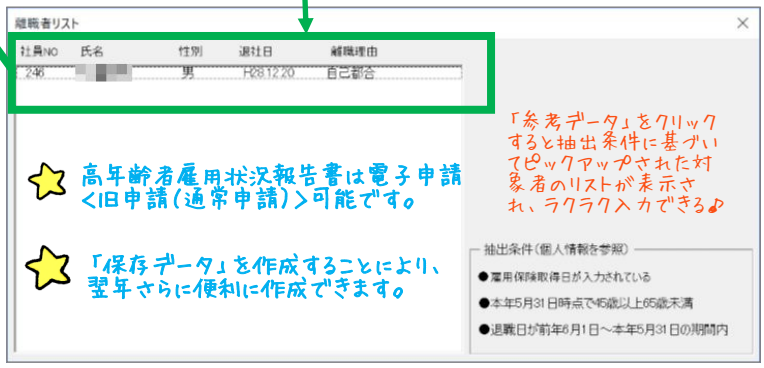
何が大変って？？「集計」が大変。

昨年までセルズのスタッフは、『台帳』の事業所ファイルの中の「検索抽出」機能で対象者を年齢で検索・抽出し、抽出されたデータを並び替え、男女の数をカウントするという方法で報告書を作成していました。そう、ほぼ手動です。集計作業は事業所の規模が大きくなればなるほど大変。なんだかんだで1事業所分を仕上げるのに１時間以上かかってしまうこともざらにありました。繁忙期に集計作業で時間を割かなくてはならないのは大きな痛手。みなさんも同じように苦労されていましたよね(;´∀｀)

梅雨でも集計の憂鬱はつゆ感ぜず

今まで集計の負担が大きかった「常用労働者数」は『台帳』に登録されている個人情報をもとに自動集計されます。過去１年間の離職者の状況や定年到達者の状況、継続雇用の対象者に関わる基準の適用状況はご自身で入力していただくことになりますが、「参考データ」が入力をフォローします。

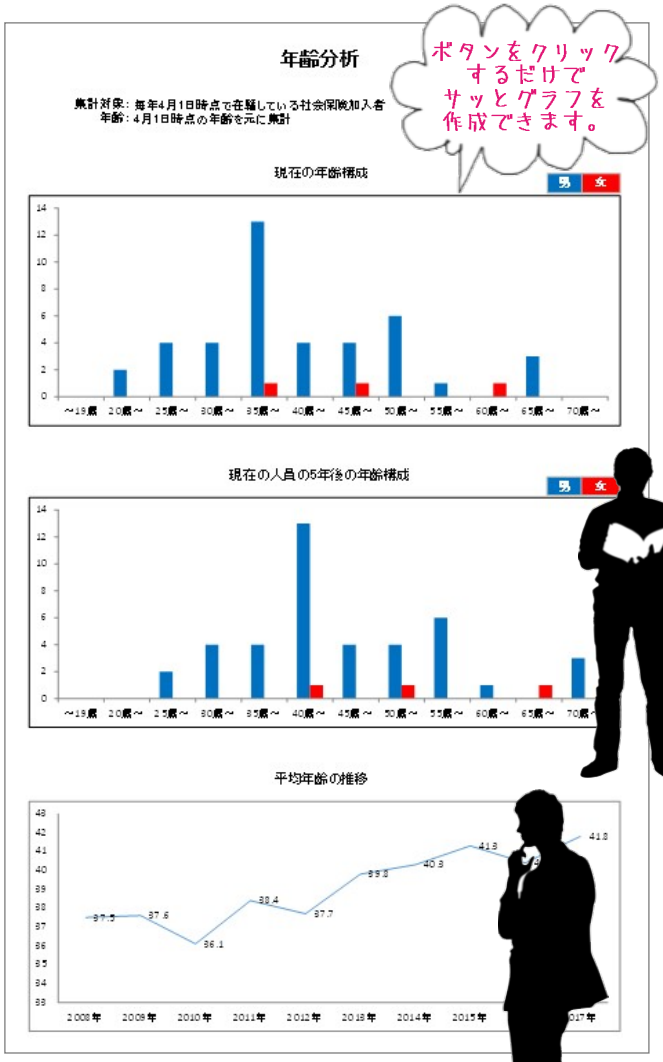


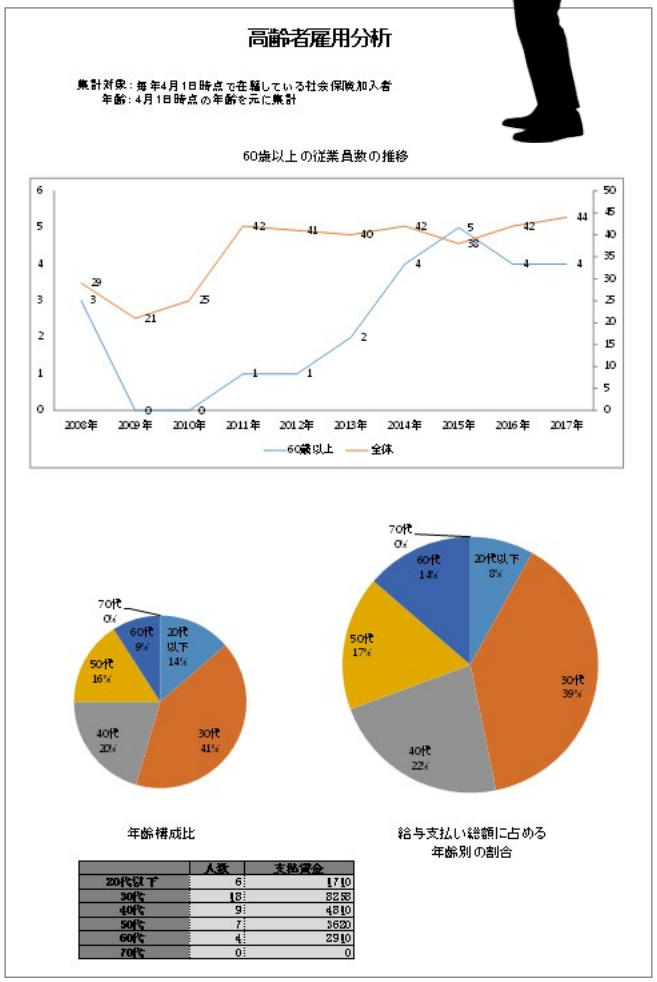


私が開発を担当しました！

バージョンアップチーム
村井　志穂　Shiho Murai

様式（報告書）作成部分を担当しました。今まで既存のものに手を加えることはありましたが、１から作るのは今回が初めてでした。みなさんの入力負担を極力なくすために、入力不要なところはブロックをかけ、悩まずに操作していただけるように工夫しました。





	人数	支給賃金
20代以下	6	1710
30代	18	8238
40代	9	4810
50代	7	3620
60代	4	2910
70代	0	0

開発者、石川&村井の背中。
肩を並べて開発業務に取組み中。

―行政に提出する書類作成だけで終わらせない　顧問先に渡せる資料を―

『台帳』では顧問先の個人情報と給与データを管理しています。せっかく保有しているなら、これらのデータを有効活用しない手はありません。そこで、左図のとおり分析資料を作成できるツールを設けました。

―先を見据えた労務管理―

分析資料では、「現在の年齢構成」と「現在の人員の５年後の年齢構成」（※人員の出入りがなかった場合）を棒グラフで表示し、顧問先事業所が5年後どのような年齢構成になるのかを視覚的に訴えます。また、「平均年齢の推移」を折れ線グラフで示すことにより、棒グラフの数値の説明に幅をもたせることができます。会社の年齢構成はどのようになっているのか。会社の主軸の年代がどのように移り変わり、高齢者がどれぐらい社内に存在するのか。今後どのように高齢化が進むのか…これらの情報を顧問先に伝えることにより、採用業務を考えるきっかけになります。どの年代を採用したらよいのか、求人応募が集まりやすくするにはどのようなアプローチが必要なのか等、この資料を用いることで顧問先訪問時の話題を膨らませることができます。

また、「賃金」についても検討するきっかけとなるように―。高齢化が進む中、高齢者雇用について慎重な対応が求められます。「定年後再雇用の賃下げは違法」という判決が下った「長澤運輸裁判」は記憶に新しく、私たちに大きなインパクトを与えました。賃金は従業員の生活を左右する大きな問題であり、企業にとっても、賃金は継続的に発生する経費です。今後安定した雇用を維持するためにはどのような賃金カーブを作っていけばよいのかを踏まえ、賃金体系を見直す機会に結びつけることができるのではないでしょうか。

年齢構成比において、60代の割合は少ないものの、支払う給与は他の年代に比べて高い水準になっている。今のままで大丈夫だろうか？

バージョンアップチーム
社会保険労務士
石川　時久　Tokihisa Ishikawa

分析資料における当初の開発構想では、棒グラフのみ対応を予定していました。しかし、その構想にどこか物足りなさを感じ、「もっとできることはないだろうか？」と自分に問いつづけた結果、たどり着いた答えが「推移を示す折れ線グラフ」でした。自分自身もそうなのですが、世の中弁の立つ社労士ばかりではありません。どちらかというと説明を苦手とする社労士もいます。そこで、折れ線グラフで平均年齢や従業員数の推移を示すことによって、説明する際の切り口を増やしたかった、一点だけを見つめるのではなく、これまでの変遷をみることで、より立体的に説明できるのではないかと考えました。ひとりでも多くの方にこのツール活用してほしいです。ぜひ顧問先への提案からビジネスチャンスにつなげてください。

セルズ テレワーク事情。　～テレワーク推進慎重派～

◆スタッフ紹介◆

＜氏名＞　小山　直佑（こやま なおすけ）　＜勤続年数＞　6年

＜業務内容＞

主に顧客サポート　サポートセンター長としてサポートスタッフのマネジメントに従事する。

＜セルズで働くモチベーション＞

若いスタッフにも仕事を任せる社風。周りで手を取り合って仕事ができる和気あいあいとした職場環境。

●テレワークをしたきっかけは？

4月に階段を踏み外し、足を亀裂骨折。医師から全治１か月以上と診断を受けて一時は休業も考えたが、4月入社の新人教育もあり、そんな中休むことで仕事に穴を開けてしまうのは非常に忍びなく、この機会にテレワークに臨むことにした。

お子さんのお世話もお手のもの！
1分1秒でも長く愛娘と過ごしたい
と切に願うイクメンぶり。

「テレワーク反対派」と社内で有名だった小山。

●「テレワーク」の印象　Before&After

＜Before＞会社にテレワーク制度があるのは知っていたものの「所定の勤務場所があるならそこへ出勤して勤務すべき」と考え、テレワークを前向きに捉えられなかった。

＜After＞病気やけがで出社できなくても休んで仕事に穴を開けずに済み、「はたらく場所が広がる（ネットがあればどこでも仕事ができる）」とテレワークに対する考え方を改めるきっかけになった。

―現在セルズではテレワーク場所が100%「自宅」です。家庭にいる時間が必然的に長くなりますよね。

●家庭内の反応は？

「このまま在宅すればいいじゃん」と妻に言われました。始業ギリギリまで子守りできるため、子供が小さいうちはとても助かります。その一方、私は世間体が気になりました。「あそこのだんなさんずっと家にいるわよﾋｿﾋｿ(　´)n (´д`)ｴｰ）」と近所の奥様方に言われていそうな気がして(笑)

●テレワークのメリットとデメリットを教えてください。

<メリット>

・通勤は難しい状況にあっても欠勤せずに済む。

・通勤時間を省くことができるため、その分プライベートを充実させられる。
　ワークライフバランスを図ることができる。

<デメリット>

・仕事の進捗を本人に委ねられることが多くなる。業務内容にもよるが、成果が周りに見えにくい部分もあり、テレワーク環境下でスタッフのマネジメントはしにくい。ビデオチャットできるとはいえ、スタッフが何に悩んでいるのか等を離れた場所で汲み取るのが難しい。

・テレワーク時は会社から貸与された携帯電話でサポートを行うため、ユーザーからその番号に折り返しのお電話や伝言、ショートメールをいただくこともある。しかし、「発信専用」の電話のため、携帯電話宛のご連絡には応じられず、とても心苦しい。

・オフィスに居なくても仕事ができる状況が確立されるため、休みづらくなるのではないかという危惧がある。
　（有給消化がしにくくなる可能性）

・家でも仕事ができてしまうため、プライベートを犠牲にしてしまう可能性もある。

●ほかのスタッフにも勧めたいと思いますか？

やはり本人の顔を見て話さないといけないことや出勤しないとわからないこと等あるため、ケースバイケースで通常の勤務とテレワークを使い分けることが重要です。またテレワークする人が出勤しているときと変わらないパフォーマンスを発揮できるのかどうかという点も見極めが必要なため、マネジメントする側としては簡単には勧められない現状もあります。

緊急事態に備えていつでもテレワークできるように環境面を整える必要性と、テレワークには周囲の理解を得ることの大切さを感じました。前号に続き、今回もテレワーク経験者を取材しましたが、テレワーク未経験者にも話を聞いてみたくなりました☆

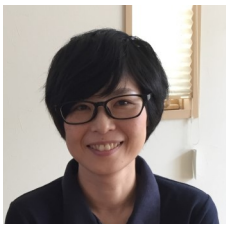
実務者の生談話！　リリース目前の『台帳』新機能が明らかに！？

2017年 夏 リリース　電子申請「公文書アップロード」機能

今夏のバージョンアップで『台帳』からCellsドライブの事業所マイページ（顧問先専用サイト）へ公文書をアップロードできるようになります。

セルズではユーザーの皆様に新機能をリリースする前に併設の社会保険労務士法人セルズ（以下、事務所）でまず運用テストを行っています。そこで、今回はリリースに先立って「公文書アップロード」機能を利用する事務所のスタッフ2名にズームイン！

インタビュアー
鳴子 由香利
Yukari Naruko



岩下 美佳
Mika Iwashita

入社2年2か月。前職の税理士事務所での経験を活かし、現業務にあたる。給与計算や手続き等の事務を担当する顧問先は20社以上。機転が利き、スマートな事務処理が光り、「入社3年目」と感じさせない安心感を醸し出している。

木谷　そうそう。郵送をこまめにしていた分郵送コストもだいぶカットできた。あとね、何といっても公文書が発行されてすぐに顧問先に届けられるのがいいよ！顧問先は手続きの進捗を非常に気にされているから。先方が公文書を確認するとCellsドライブマイページ（社労士事務所側）でも既読欄が「済」ってなるでしょ？あの「済」となるのが速いところは本当に速い。

鳴子　手続きが発生して最終的な公文書発行までがスピーディーな点は顧問先にとって大きな安心感がありますよね。遅ればせながら私もこの新機能を使ってみましたが『台帳』の電子申請管理画面から公文書をアップロードするまでの流れがめちゃくちゃスムーズでした！これを使ったら、今までやっていた「メールに添付」さえも億劫に感じてしまいそう…

岩下　わかる！だってもう戻れないもん(笑)社労士事務所も便利だけれど、顧問先も公文書をデータで保管できるから保管場所をとられなくていいと思う。アップロードした公文書は４年間保管されるしね！

鳴子　事務所の『台帳』にはすでに「公文書アップロード」機能が搭載されていますよね。ズバリ使い心地はいかがでしょう？

木谷　めっちゃいいよ！

岩下　うんうん。すごくいいね！

鳴子　そんなに！？具体的にどのような点がよいですか？

木谷　公文書を印刷しなくていいから、ペーパーレス化できるところかな。

岩下　紙で公文書を出力していた頃は「管理」が結構ストレスだったかも。〇〇会社は訪問時に、△△会社は郵送で…というように顧問先によって公文書の渡し方が違ったからセルズに入社したばかりの頃はそれを覚えるのが大変だった(笑)

鳴子　公文書を手渡しするにしても セルズの顧問先訪問はだいたい月1ペース。手続きが多く発生する事業所は所定の保管場所に公文書がかなり溜まっていましたね。

木谷 美枝子
Mieko Kitani

入社4年2か月。事務全般に従事。リリース前の機能をガンガン使い、現場目線の声を開発チームへ積極的に届ける。情熱的に機能改善に尽力中。安定感のある事務により、スタッフからの信頼が厚い。彼女の存在により、事務メンバーの軸はブレない。

鳴子　Cellsドライブを活用しペーパーレス化を実現させる新しい公文書管理方法を顧問先に提案できるのはうれしいですね。最後にお尋ねします。ユーザーのみなさんに「新機能をお楽しみに♪」とお伝えしてもよろしいでしょうか？

木谷 岩下　OK牧場！(笑)

鳴子　伝えるガッツが湧いてきました！ありがとうございました。

みなさん、バージョンアップをどうぞお楽しみに☆

なるこのつぶやき。

お尻に火がつかないと…

早起きが苦にならない季節になりましたね。朝早く起きても出発するのは結局いつもと同じ時間…。みなさんはこのような経験ありませんか？早く起きた分の余裕から朝を満喫しすぎて慌てて家を飛び出す、“ウサギとカメ”なら自分は間違いなくウサギなのだろうと反省することもしばしば。思えば、学生時代もお尻に火がつかないと試験勉強にとりかからなかったなぁなんて思い出し、性格はなかなか変わらないものだとつくづく感じます。みなさん、年度更新・算定は順調に進んでいますか？

心に火が灯ったら…

5月の中旬に東京六本木にある国立新美術館で開催されていた草間彌生展「わが永遠の魂」に行ってきました。私はポップでカラフルなものが好きです。そのため、草間さんの作品も好きです。色味のあるものを見たり、身に着けたりするとなんだか元気になるから。それゆえ、何かを選ぶ時は明るい色のものを手に取ることが多く、バッグの中の小物はビタミンカラーだらけです(笑)栄養は口からとるものだと思いがちですが、「色から受ける印象」によって目からもいっぱい栄養を吸収していることに気づかされます。そんなに栄養とってどうするの！？と言われてしまいそうですが、私にとっては大事なこと。
88歳となってもなお、次から次へとアイデアが湧いてきて徹夜で創作に没頭することもあるという草間さん。燃え尽きることのないその創作意欲は目を見張るものがあります。そんな草間さんの心の火が作品に触れる者の胸を焦がすのでしょうね。
お尻についた火はあっという間に消えてしまいますが、心に灯った火は消えない。
何事も心に火を灯して臨みたいです。

“さぁ、闘いは無限だ
もっと独創的な作品をたくさんつくりたい
その事を考える眠れない夜
創作の思いは未知の神秘への憧れだった
私は前衛芸術家として宇宙の果てまでも闘いたい
倒れてしまうまで”

「闘うべきは誰でもなく何でもなく自分自身」。
展覧会の入り口に掲げられていた草間さんのメッセージからそう感じたのでした。

—Staff comment—

6月のイベントとして「父の日」をお忘れではないでしょうか？私の場合、毎年「母の日」と一緒に終わらせてしまっていたので、今年は父の大好きなお酒を持って、一緒に飲みたいと思います。
Y.Shimizu

「目に青葉 山ホトトギス 初鰹」と詠まれたように、初夏の旬といえば鰹です。初夏にふさわしく、さっぱりとした美味しさがあり、つい食べたくなりますよね。カツオは美味しいだけではなく、栄養価の高さはレバー並みとも言われ、社労士事務所が忙しくなるこの時期の疲労回復に良さそうですね。
Shimaoka

編集　鳴子　由香利